

国民年金に関する県民意識調査結果報告書

令和 3 年 1 月

沖縄プロジェクトチーム
沖縄県内年金事務所
九州地域第二部

目 次

1．県民意識調査（アンケート調査）の概要	．．．．．1
2．調査結果のポイント	．．．．．2
3．県民意識調査（アンケート調査）結果	．．．．．4

#)おことわり#*

各解答項目の割合（％）は、端数処理の関係上、合計が100%にならない場合があります。

1 県民意識調査（アンケート調査）の概要

（１） 調査目的

沖縄県における国民年金保険料の令和元年度の現年度納付率は55.41%（対前年度伸び幅プラス4.24%）と大きく改善したものの、依然として全国47位の状況である。

さらなる納付率の改善には、他県と比べ納付率の乖離幅の大きい、20～24歳の若年者層への取組みが必須と考えており、取組みにあたって、沖縄県の若年者層特有の課題を把握し、今後の取組みに活かすことを目的として実施した。

（２） 調査方法

沖縄県内に住所を有する20歳から24歳の国民年金被保険者から1万人を抽出し、アンケート調査票を郵送した。回収は、同封した返信用封筒により行った。

（３） 調査期間

令和2年10月30日～令和2年11月18日

（４） 回答状況

送付者数	有効回答数	回答率
10,000人	1,308人	13.08%

2 . 調査結果のポイント

沖縄県の若年者（20～24歳）国民年金保険料の納付率の状況

沖縄県の若年者の納付率は全国と比較し低いことを知っているか尋ねたところ「知らない」82.7%で「知っている」17.3%を大きく上回った。また、納付率が低い理由を尋ねたところ、「制度をよく知らない」32.3%、「保険料が高いため支払うことができないから」31.3%と高く、次いで「年金制度の将来が不安・信用できないから」17.6%、「厚生労働省・日本年金機構が信用できないから」4.7%であった。

年金制度の理解度

国民年金制度への加入と保険料の納付が法律で義務付けられていることを知っているか尋ねたところ「知っている」86.6%で「知らない」13.4%を大きく上回った。

経済的に厳しい場合は、保険料を支払わなくてもいい制度（免除制度）、支払いが猶予される制度（学生納付特例制度、若年者納付猶予制度）があることを知っているか尋ねたところ、「知っている」80.2%で「知らない」19.8%を大きく上回った。

一方で、国民年金の財源の半分は国庫（国の税金）から負担されていることや、国民年金保険料を支払わないままだと、本人だけではなく世帯主、配偶者の方の財産が差し押さえられることについて、70%を超える方が「知らない」との回答であり、年金には老齢年金だけではなく、障害年金、遺族年金があることを「知らない」と回答した方も全体で60.5%であった。

国民年金に関する案内文書送付後の行動

年金事務所（日本年金機構）から国民年金に関する案内（封筒）が届いたことがあるか尋ねたところ「ある」83.7%、「ない」1.9%、「わからない」14.4%であった。

また、「ある」と回答した方に、年金事務所（日本年金機構）から案内が届いたあとどうしたか尋ねたところ、「免除手続きをした」73.7%、「納付した」16.6%と行動を起こしたとする回答が90.3%あり「何もしなかった」9.7%を大きく上回った。

納付または免除の手続を行ったのは、「本人自身」が62.3%、「親」が36.1%となった。

「何もしなかった」と回答した方は、その理由について、「後から手続きをしようと思ったが忘れていた」32.5%、「書類を読んだが何をすべきなのかわからなかった」27.7%と回答した方が多く、納付や手続きの必要性は認識している傾向がうかがえた。

２．調査結果のポイント

広報（制度周知）

国民年金をどのような方法で知ったかについて尋ねたところ、「家族から」が39.2%と最も多く、次いで「日本年金機構からのお知らせ文書」19.3%、「テレビ」13.9%以上と続いた。

次に、国民年金を若い世代にもっと知ってもらうためにはどのような機会が望ましいか尋ねたところ、「SNS」が25.8%と最も多く、次いで「学校での年金セミナー」20.9%であった。

また、国民年金のどのようなことを知りたいかについて尋ねたところ、「年金額」が23.9%、次いで「保険料免除の仕組みと申請方法」19.9%、「保険料の支払い方法」15.6%であった。

若年者が国民年金保険料を支払っていただくために必要なこと

若年者に国民年金保険料を支払っていただくために必要だと思うことを尋ねたところ、「広報（セミナー）の充実」が52.0%と最も多く、次いで「保険料を安くする」25.5%、「制度・運営面での不信の払拭」16.6%、「業務の実施方法の改善」6.0%の順となった。

調査結果を踏まえた今後の取組

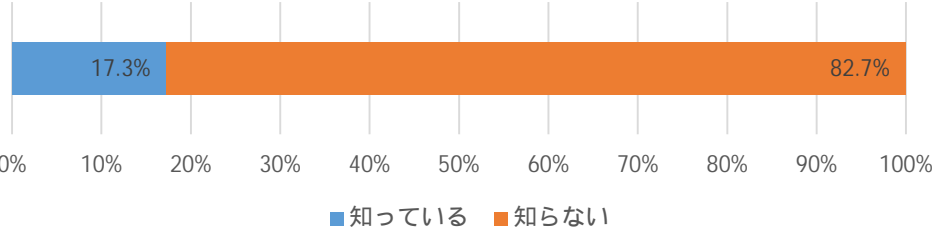
調査結果を踏まえ、沖縄プロジェクトでは、制度周知策の更なる強化を図ることとし、次の事項を重点的に取組み、納付率を向上させ、無年金者や低年金者の増加を防止する。

- 1．お客様と直接、会話が可能な架電（訪問）時に「納付や免除手続きの行動を起こすことの重要性」をしっかりと伝えるためのトークスクリプトを見直す
- 2．対面形式による「年金説明会」や教育現場での「年金セミナー」に加え、沖縄県の若年者を意識した非対面形式の「オンラインセミナー」の実施拡大及び制度説明用「DVD」を配布するなどお客様に必要な情報を提供
- 3．日本年金機構から送付する各種通知等に2次元バーコードを掲載し、詳細情報を掲載したホームページにご案内するとともに、SNSを活用し、時宜を捉えた必要な各種情報を発信
- 4．県、市町村との連携のもと、お客様ニーズに合わせた情報を発信

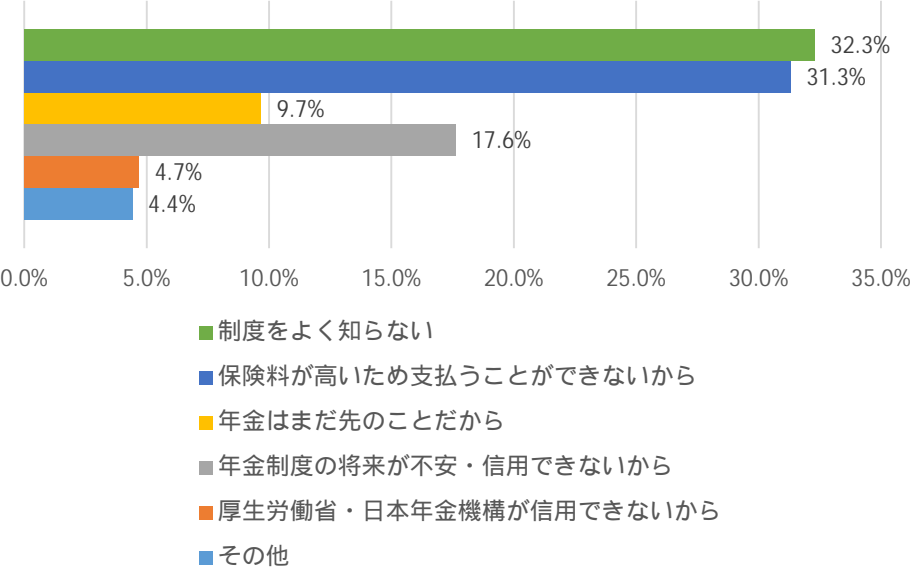
3 県民意識調査（アンケート調査）結果

はじめに

【納付率1】沖縄県の国民年金保険料の納付率は、全国47位と最下位になっています。特に若年者（20～24歳 未満）の国民年金保険料の納付率は全国との差が大きい状況であることを知っていますか。（アンケート調査票のお願い」の表参照）

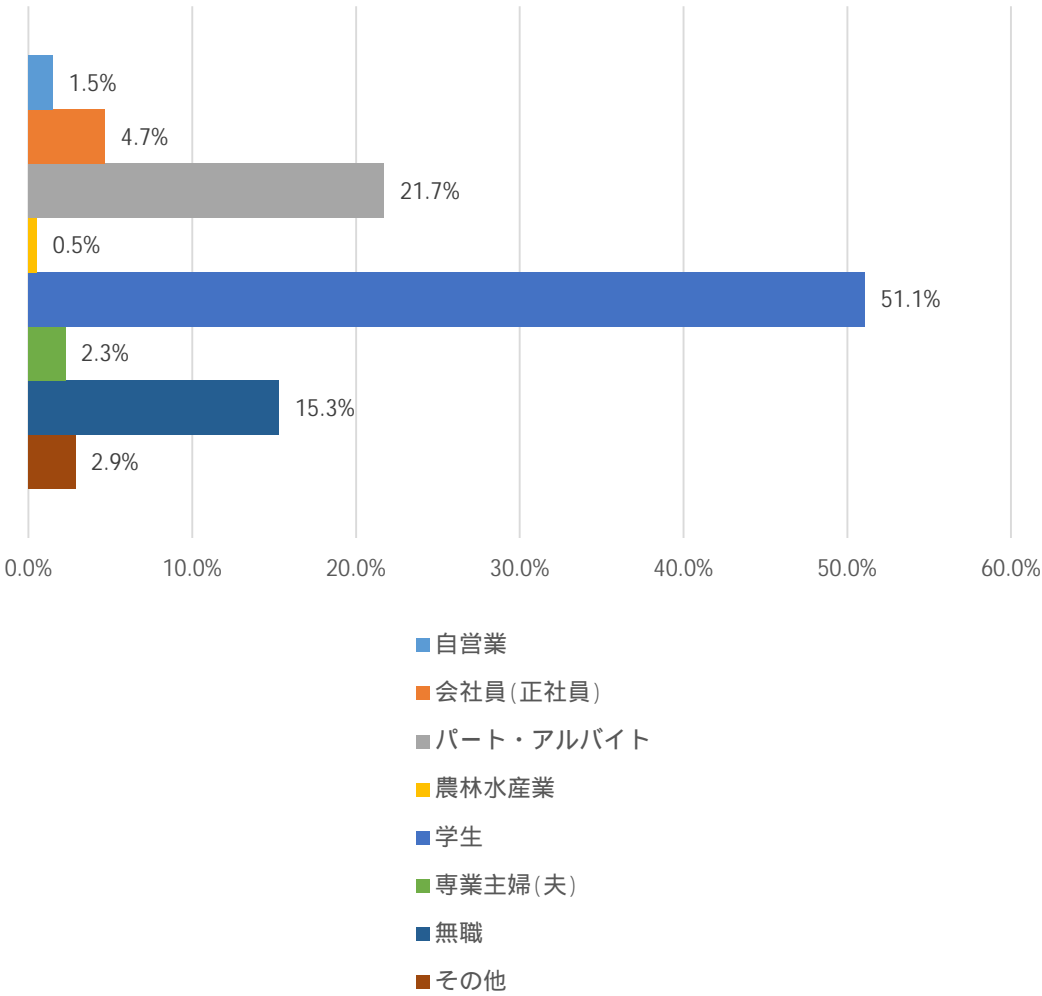


【納付率2】他県に比べ沖縄県の若年者の納付率が低いのは何故だと思いますか。（複数回答可）



あなた自身のことについてお尋ねします。

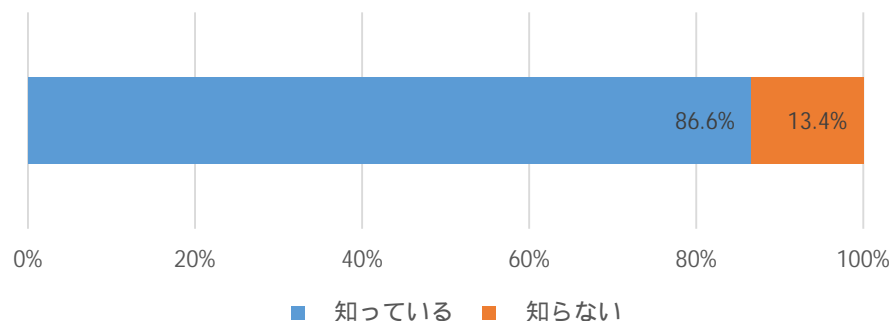
【職種】あなたの職業等についてお聞かせください。



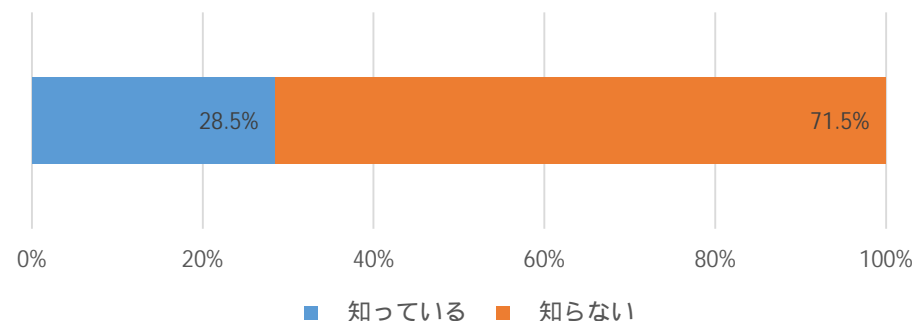
3 県民意識調査（アンケート調査）結果

年金制度についてお尋ねします。

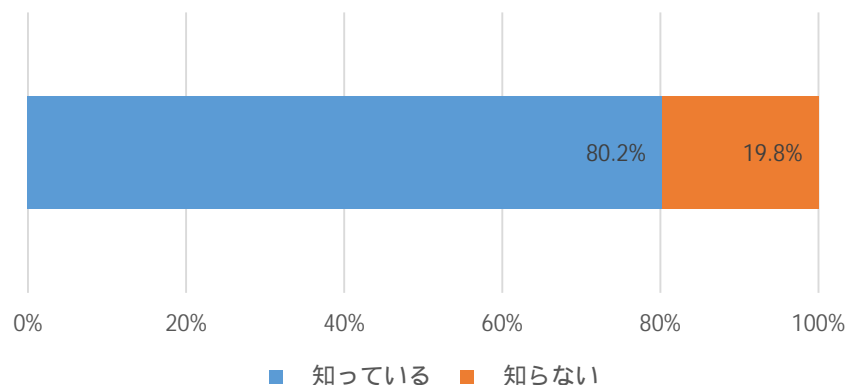
【問1】国民年金は日本国内に住所がある20歳以上60歳未満の方は加入と納付が法律で義務付けられていることを知っていますか。



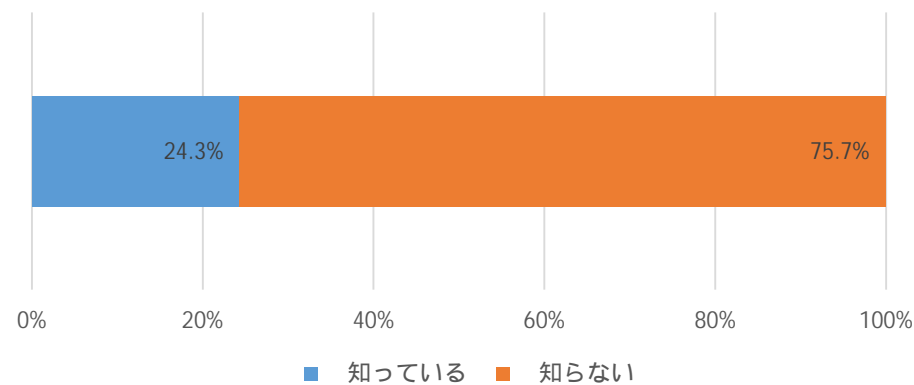
【問3】国民年金の財源は、支払われた保険料だけではなく、半分は国庫（国の税金）から負担されていることを知っていますか。



【問2】令和2年度の国民年金保険料は16,540円（月額）ですが、経済的に厳しい場合は、保険料を支払わなくてもいい制度（免除制度）、支払いが猶予される制度（学生納付特例制度、若年者納付猶予制度）があることを知っていますか。



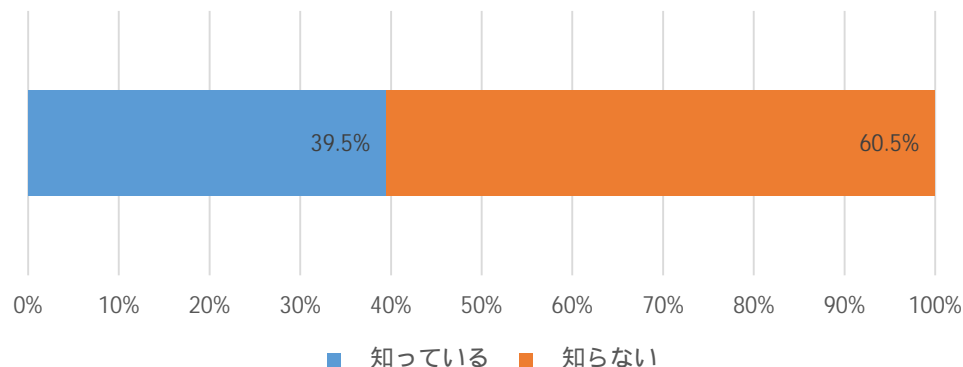
【問4】国民年金保険料を支払わないままだと本人だけではなく世帯主や配偶者の方の財産が差し押さえられる場合があることを知っていますか。



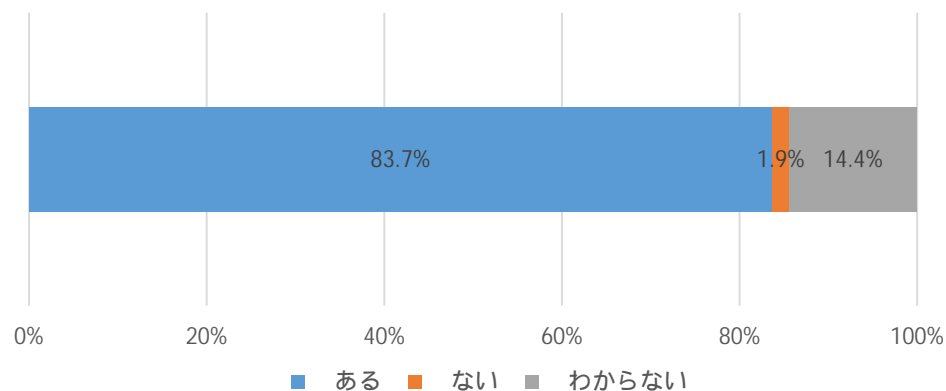
3 県民意識調査（アンケート調査）結果

年金制度についてお尋ねします。

【問5】国民年金には老後に受け取れる老齢年金だけではなく、事故や病気で障害を負われた方が受け取る障害年金や、一家の大黒柱の方が亡くなられた場合に遺族が受け取る遺族年金というものがあることを知っていますか。

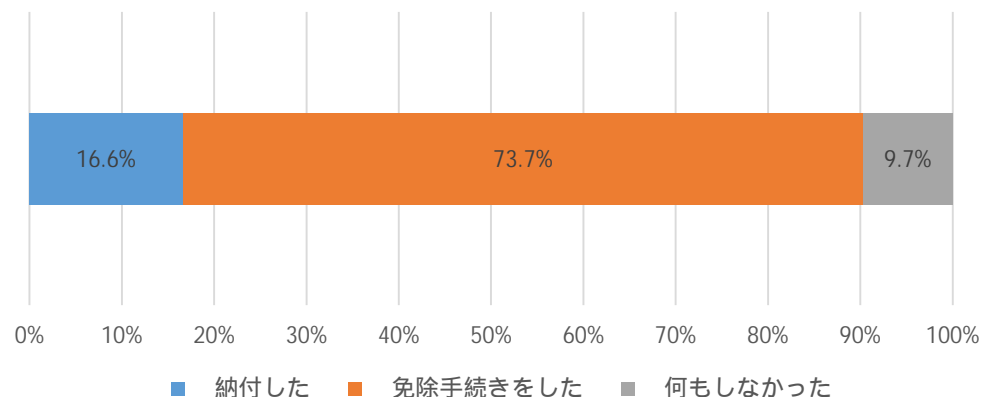


【問6】年金事務所（日本年金機構）から国民年金に関する案内（封筒）が届いたことがありますか。

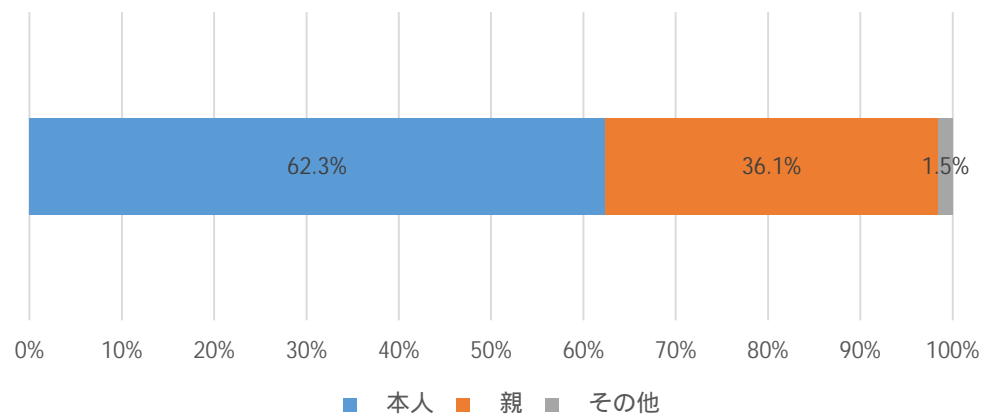


あなた自身の年金についてお尋ねします。

【問7】【問6】で「ある」と回答した方にお聞きします。年金事務所（日本年金機構）から案内が届いたあとどうしましたか。



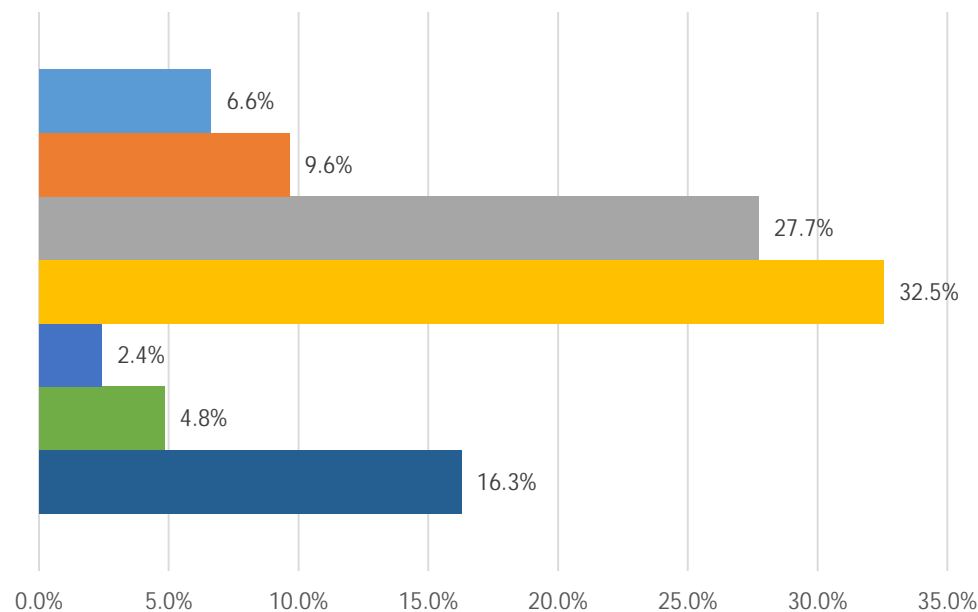
【問8】【問7】で「納付または免除の手続きをした」と回答した方にお聞きします。納付または免除の手続きはどなたが行いましたか。



3 県民意識調査（アンケート調査）結果

あなた自身の年金についてお尋ねします。

【問9】【問7】で「何もしなかった」と回答した方にお聞きします。何もしなかった理由をお聞かせください。（複数回答可）



■ 案内封筒を開封していない

■ 開封したが書類が多かったため読む気になれなかった

■ 書類を読んだが何をすべきなのかわからなかった

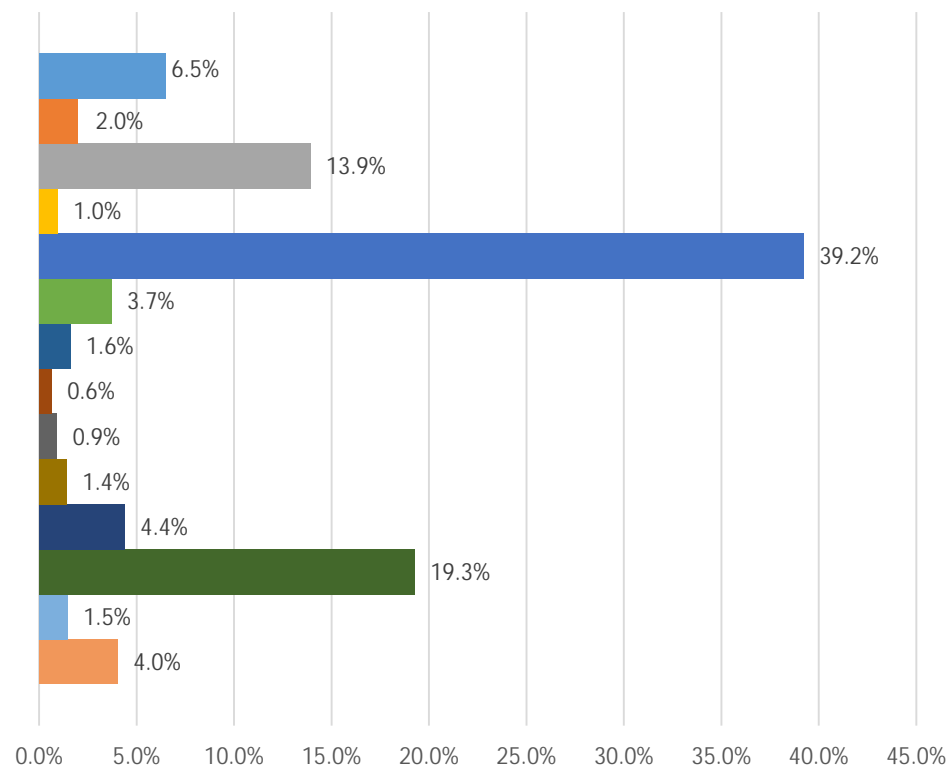
■ 後から手続き（支払いや免除手続き）をしようと思ったが忘れていた

■ 税金や国民健康保険等の手続きを済ませた時点で国民年金の手続きも完了したものと思っていた

■ 年金に関心がなく、支払いや免除手続きの必要性を感じない

■ その他

【問10】あなたは、国民年金をどのような方法で知りましたか。（複数回答可）



■ インターネット

■ テレビ

■ 家族から

■ 新聞・雑誌

■ 年金事務所での相談

■ 学校での年金セミナー

■ 日本年金機構ホームページ

■ S N S

■ ラジオ

■ 友人から

■ 市町村広報誌

■ 市町村の役所（役場）での相談

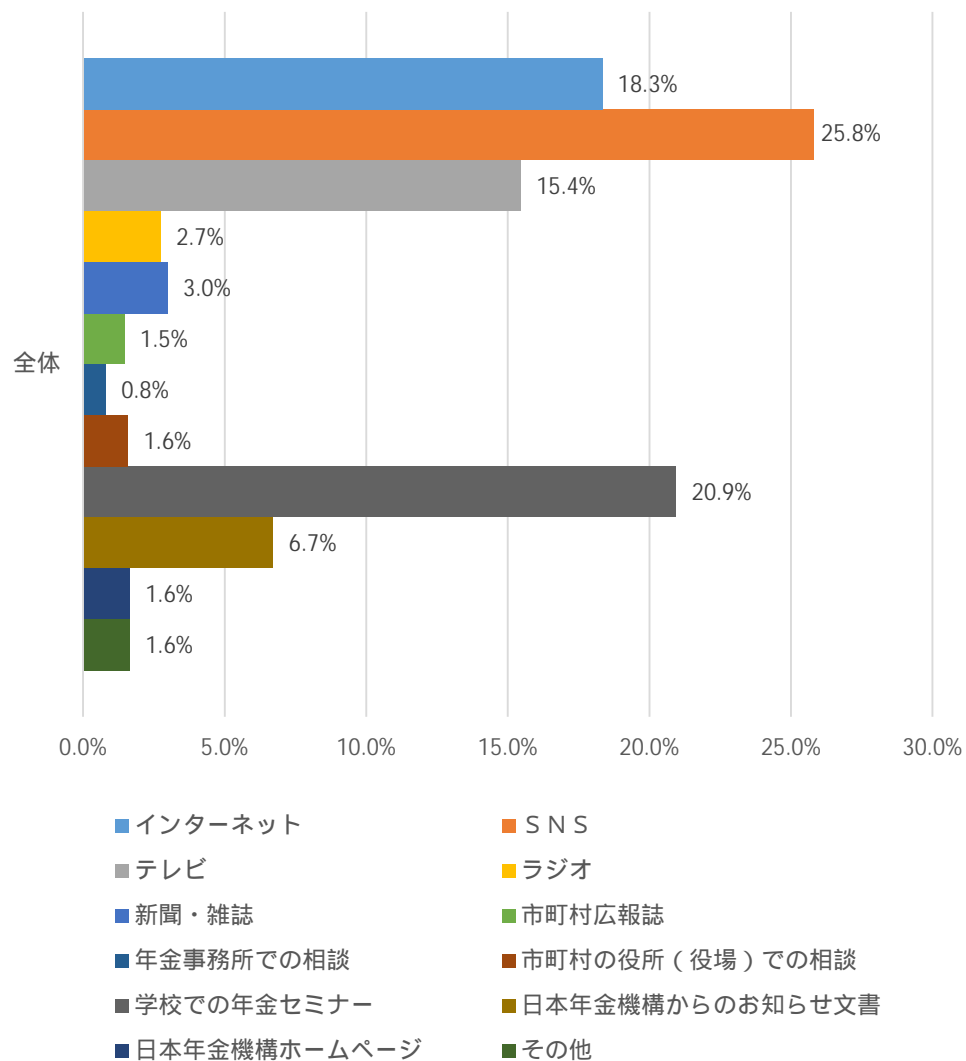
■ 日本年金機構からのお知らせ文書

■ その他

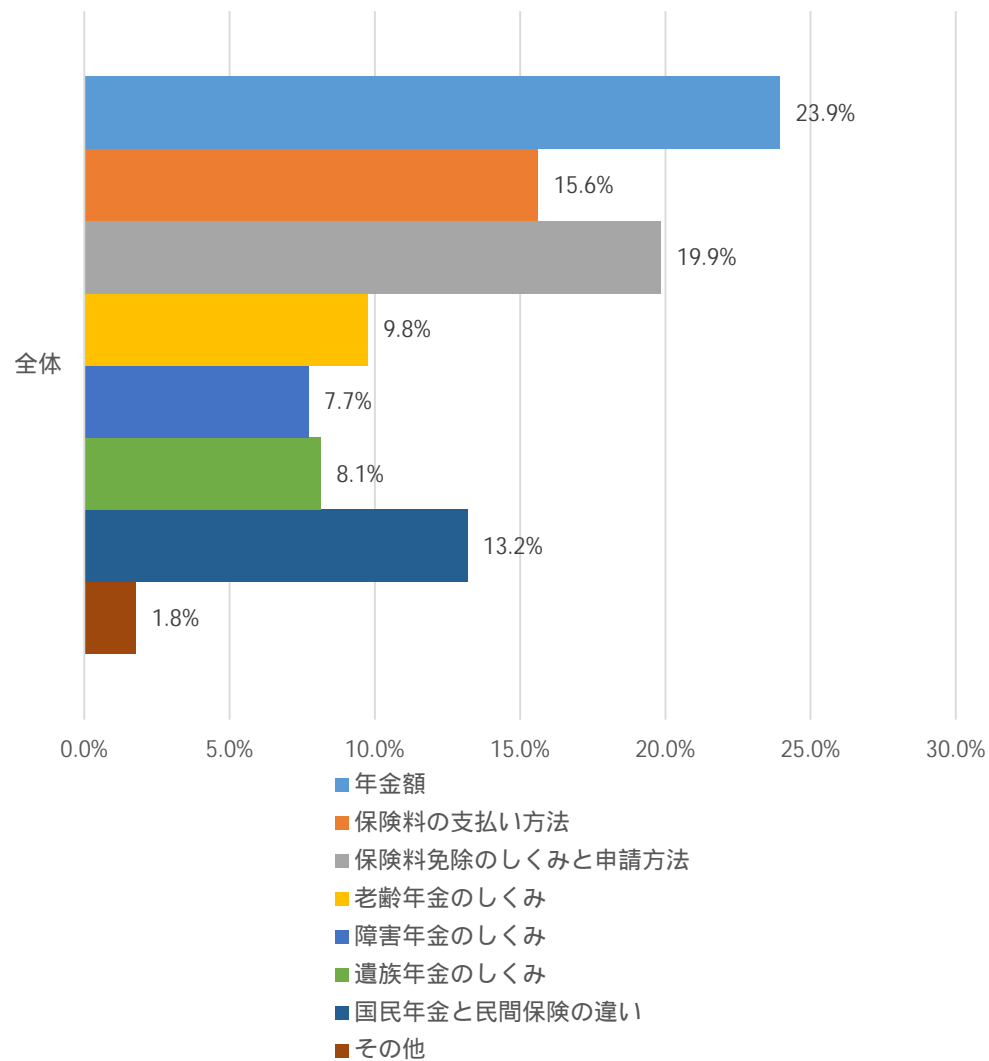
3 県民意識調査（アンケート調査）結果

あなた自身の年金についてお尋ねします。

【問11】国民年金をあなた方のような若い世代にもっと知ってもらうためにはどのような機会が望ましいと思いますか。（複数回答可）



【問12】【問11】で回答した媒体などでどのようなことを知りたいですか。（複数回答可）

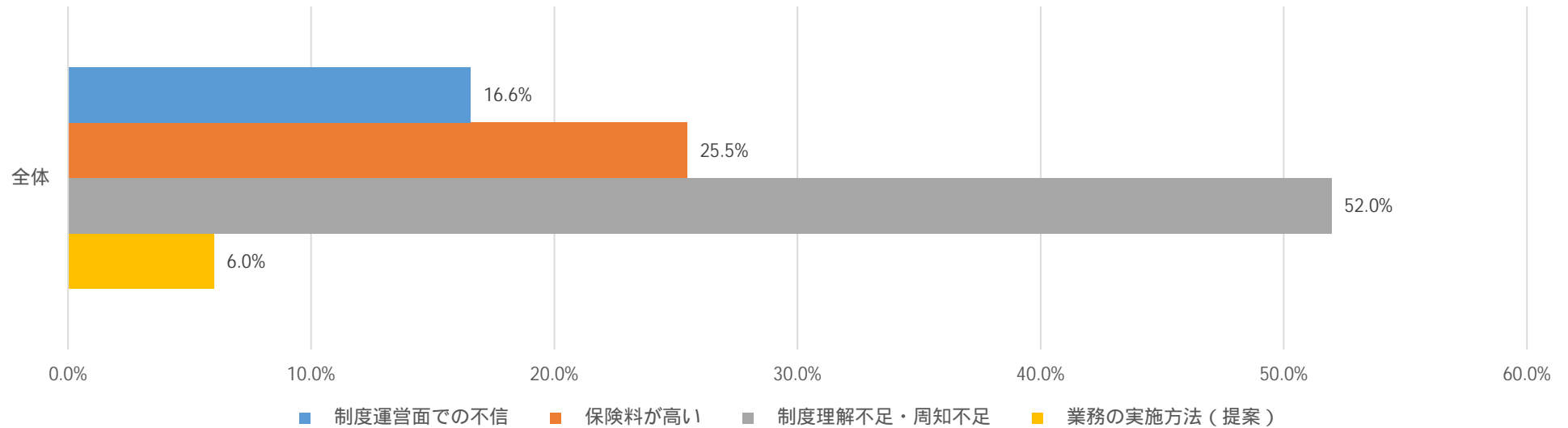


3 県民意識調査（アンケート調査）結果

自由記載

【自由記載】若年者が国民年金保険料を支払っていただくために必要だと思うことをお聞かせください。

自由記載



アフターコーディングし数値化